

ファイル形式とビューア

岐阜県立岐阜女子商業高等学校教諭 長縄 哲朗

1. ビューアとは

情報（データ）を作成したり編集したりするために必要な環境と、これを閲覧するために必要な環境は異なる。できる限り簡易な方法で閲覧するための環境を提供することにより、より多くの人に対して情報を発信できる可能性が高まる。

これを実現するのが、ビューアまたはブラウザと呼ばれるアプリケーションソフトウェアである。一般にビューアは元のファイルを変更することなく、利用者に情報を提示する機能を提供する。

上記のような定義に基づけば、情報を提示する全てのものをビューア、ブラウザと言えるが、コンピュータの世界では、静止画や文章を提示するものを指し示すことが多い。

ビューアはその目的で、自分が所有しているデー

プラグイン名	代表的なファイル拡張子	主な使用内容
Real Player	ra, ram, rnm	動画、音声
	http://www.real.com/player/index.html?lang=jp	
Windows Media Player	avi, wma	動画、音声
	http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/	
QuickTime Player	mov	動画、音声
	http://www.apple.co.jp/quicktime/index.html	
Shockwave Player	dcr	アニメーション
	http://www.macromedia.com/jp/downloads/	
Flash Player	swf	アニメーション、ナビゲーション
	http://www.macromedia.com/jp/downloads/	
Acrobat Reader	pdf	ドキュメント
	http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html	

表1 プラグインの種類

タを整理閲覧するためのものと、他人からの情報を閲覧するためのものに区分できる。また、その動作環境から、ブラウザ上でプラグインとして動作するものと、単体のアプリケーションとして動作するものに分けられる。自分の目的に応じて最適なものを利用するのが良いだろう。また、情報の発信側から見れば、できる限り多くの人が情報利用できるようにファイル形式に配慮することで、その情報が埋もれてしまわないようにすることに留意すべきだと思われる。

2. ビューアの種類

2.1 プラグインの種類

ブラウザでは、プラグインと呼ばれる機能モジュールにより機能を拡張し、データを閲覧する。代表的なものを表1に示す。

2.2 ドキュメントのビューア

あなたが、友人や知人からワープロ等で作成したファイルをそのまま送られ、同じソフトウェアを持っていない場合は簡単には内容を確認することはできない。そこで活躍するのが、ワープロや表計算それぞれ専用のビューアソフトである。

2.3 静止画像向けのビューア

画像の整理、閲覧という目的のためのソフトウェアの特徴として、1画像ずつ表示する以外に、小さなサムネイルと呼ばれる画像を表示し、画像を一覧表示したり、解像度やサイズを一括変換する機能を有するものが多い。デジタルカメラに付属するファイル管理ソフトや多くのフリーウェアが知られている。

2.4 マルチメディアのファイル形式

音声ファイルは、Wave形式、AIFF形式、au形式、wma形式、MP3形式、MIDI形式が一般的なサウンドファイルのフォーマットと言えるだろう。音声ファイルは、サンプリング周波数、ビットレートによって基本的なファイルサイズが決まる。更に、WmaやMP3は、圧縮方式という要素が加わる。なお、ここにあげたファイル形式のなかで、MIDIは、サウンドデータではなく、MIDI楽器に対する演奏命令である点が異なる。

動画データは、コーデック(CODEC)と呼ばれる圧縮方式により異なり、便宜上、QuickTime形式、Windows-Media形式、RealPlayer形式、DVD形式に分けられる。